

作成年月日	平成25年8月5日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

県民モニター「第2回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

- (1) 調査テーマ：「健康対策について」
- (2) 調査対象者：県民モニター 1,991人
- (3) 調査期間：平成25年6月11日(火)
～6月24日(月)[14日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5) 回答者数：1,389人(回答率69.8%)

<参考 - 対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		1,991	1,389	69.8%
性別	男性	1,069	796	74.5%
	女性	922	593	64.3%
年代別	10～20代	141	65	46.1%
	30代	315	171	54.3%
	40代	407	268	65.8%
	50代	343	251	73.2%
	60代	450	373	82.9%
	70代以上	335	261	77.9%

2 調査結果の概観

(1) がん検診等について

項目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察																																																																						
がん検診に対する認識 がん検診が、がん早期発見・早期治療につながる重要な検査だと思いませんか？	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そう思う</td> <td>71.9%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばそう思う</td> <td>21.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>4.3%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばそう思わない</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	割合	そう思う	71.9%	どちらかといえばそう思う	21.4%	どちらともいえない	4.3%	どちらかといえばそう思わない	0.8%	そう思わない	1.0%	わからない	0.6%	<p>がん検診が早期発見・早期治療につながると思う人(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計)の割合は、9割を超える。</p> <p>がん検診が重要な検査であるとの認識は広まっている。</p>																																																								
区分	割合																																																																							
そう思う	71.9%																																																																							
どちらかといえばそう思う	21.4%																																																																							
どちらともいえない	4.3%																																																																							
どちらかといえばそう思わない	0.8%																																																																							
そう思わない	1.0%																																																																							
わからない	0.6%																																																																							
がん検診・検査の受診	<p>〔受診率〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">全体</th> <th colspan="2">男女別</th> <th colspan="3">年齢別</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>10～30代</th> <th>40～50代</th> <th>60代～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん (過去2年間に検診)</td> <td>55.1%</td> <td></td> <td>55.1%</td> <td>57.0%</td> <td>64.2%</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>乳がん (過去2年間に検診)</td> <td>48.6%</td> <td></td> <td>48.6%</td> <td>26.7%</td> <td>62.1%</td> <td>46.9%</td> </tr> <tr> <td>胃がん (過去1年間に検診)</td> <td>45.7%</td> <td>55.7%</td> <td>32.4%</td> <td>10.2%</td> <td>45.1%</td> <td>59.5%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん (過去1年間に検診)</td> <td>44.5%</td> <td>51.3%</td> <td>35.4%</td> <td>8.9%</td> <td>44.3%</td> <td>57.9%</td> </tr> <tr> <td>肺がん (過去1年間に検診)</td> <td>26.1%</td> <td>32.8%</td> <td>17.2%</td> <td>3.4%</td> <td>22.7%</td> <td>37.4%</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス (過去1度でも検査)</td> <td>21.2%</td> <td>20.7%</td> <td>21.9%</td> <td>8.9%</td> <td>23.1%</td> <td>24.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>網掛は受診率が5割超</p> <p>〔受診しない者の理由〕 上記検診・検査のいずれも受診しない者 388人(27.9%)を対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用がかかる</td> <td>36.6%</td> </tr> <tr> <td>心配なときは医療機関を受診する</td> <td>28.9%</td> </tr> <tr> <td>まだそういう年齢ではない</td> <td>17.5%</td> </tr> <tr> <td>時間がとれない</td> <td>16.5%</td> </tr> <tr> <td>面倒だ</td> <td>16.2%</td> </tr> <tr> <td>結果がこわい</td> <td>12.6%</td> </tr> <tr> <td>どこで受診できるのか知らない</td> <td>12.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	全体	男女別		年齢別			男	女	10～30代	40～50代	60代～	子宮がん (過去2年間に検診)	55.1%		55.1%	57.0%	64.2%	35.0%	乳がん (過去2年間に検診)	48.6%		48.6%	26.7%	62.1%	46.9%	胃がん (過去1年間に検診)	45.7%	55.7%	32.4%	10.2%	45.1%	59.5%	大腸がん (過去1年間に検診)	44.5%	51.3%	35.4%	8.9%	44.3%	57.9%	肺がん (過去1年間に検診)	26.1%	32.8%	17.2%	3.4%	22.7%	37.4%	肝炎ウイルス (過去1度でも検査)	21.2%	20.7%	21.9%	8.9%	23.1%	24.3%	区分	割合	費用がかかる	36.6%	心配なときは医療機関を受診する	28.9%	まだそういう年齢ではない	17.5%	時間がとれない	16.5%	面倒だ	16.2%	結果がこわい	12.6%	どこで受診できるのか知らない	12.4%	<p>がん検診の重要性が認識されているにもかかわらず、受診率が5割を下回っているものがある。</p> <p>特に、国が受診対象を40歳以上と定める検診のうち、胃がん、大腸がん、肺がん検診においては、40～50代であっても5割を下回っている。</p> <p>一方、子宮がん、乳がんの受診率は、無料クーポンや啓発の効果もあり、相対的に高くなっている。</p> <p>受診しない理由は、「費用がかかる」とする人の割合が最も高い。</p> <p>また、「心配なときは受診」「そういう年齢ではない」「時間がとれない」「面倒」などの理由も多く、検診の意義を認識しつつも行動につながっていない状況が伺われる。</p> <p>このため、定期的な受診が、がんの早期発見・治療につながり、命を守るということになるという意義を継続して啓発していく必要がある。</p>
区分	全体			男女別		年齢別																																																																		
		男	女	10～30代	40～50代	60代～																																																																		
子宮がん (過去2年間に検診)	55.1%		55.1%	57.0%	64.2%	35.0%																																																																		
乳がん (過去2年間に検診)	48.6%		48.6%	26.7%	62.1%	46.9%																																																																		
胃がん (過去1年間に検診)	45.7%	55.7%	32.4%	10.2%	45.1%	59.5%																																																																		
大腸がん (過去1年間に検診)	44.5%	51.3%	35.4%	8.9%	44.3%	57.9%																																																																		
肺がん (過去1年間に検診)	26.1%	32.8%	17.2%	3.4%	22.7%	37.4%																																																																		
肝炎ウイルス (過去1度でも検査)	21.2%	20.7%	21.9%	8.9%	23.1%	24.3%																																																																		
区分	割合																																																																							
費用がかかる	36.6%																																																																							
心配なときは医療機関を受診する	28.9%																																																																							
まだそういう年齢ではない	17.5%																																																																							
時間がとれない	16.5%																																																																							
面倒だ	16.2%																																																																							
結果がこわい	12.6%																																																																							
どこで受診できるのか知らない	12.4%																																																																							

<p>情報入手方法</p> <p>検診や治療法、がん診療科のある病院についての情報入手方法は？</p>	区 分	割 合	<p>情報入手方法として、半数以上がインターネットや病院・診療所の医師・看護師をあげている。</p> <p>県ホームページに掲載している「がんネット」などインターネットを利用した情報提供や、かかりつけ医等へのチラシ・ポスター配布などの方法が効果的と考えられる。</p>
	インターネット	51.4%	
	病院・診療所の医師・看護師	51.2%	
	家族・友人・知人	33.5%	
	新聞・雑誌・書籍	26.3%	
	がん診療連携拠点病院の相談支援センター	21.7%	

(2) がん対策の新たな課題に対する認識等について

<p>がん医療における「緩和ケア」の認知度</p>	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>割 合</th> </tr> <tr> <td>よく知っている</td> <td>31.6%</td> </tr> <tr> <td>言葉だけは知っている</td> <td>50.7%</td> </tr> <tr> <td>知らない</td> <td>17.7%</td> </tr> </table>	区 分	割 合	よく知っている	31.6%	言葉だけは知っている	50.7%	知らない	17.7%	<p>「緩和ケア」という言葉の認識は広がっているが、「よく知っている」人の割合は3割程度である。</p> <p>がん患者の苦痛の軽減と生活の質の向上を図る「緩和ケア」は重要であるので、緩和ケアの意義や、がん相談支援センターでの緩和ケアの相談窓口等について周知していく必要がある。</p>								
区 分	割 合																	
よく知っている	31.6%																	
言葉だけは知っている	50.7%																	
知らない	17.7%																	
<p>がん患者の就労環境に対する認識</p> <p>がんの治療等で2週間に1回程度病院に通う必要がある場合、働きつづけられる環境にあると思うか？</p>	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>割 合</th> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばそう思う</td> <td>25.1%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばそう思わない</td> <td>34.4%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>24.5%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>9.0%</td> </tr> </table> <p>[理由] ←</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2週間に1回の頻度は休めない(117人) ・ 職場の理解が得られない(109人) 	区 分	割 合	そう思う	7.1%	どちらかといえばそう思う	25.1%	どちらかといえばそう思わない	34.4%	そう思わない	24.5%	わからない	9.0%	<p>「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせ約6割が、働きつづけられる就労環境ではないと考えている。</p> <p>職場での理解を深めるため、企業を対象とした就労支援セミナーの開催やハローワーク等と連携した就労支援体制の構築など、がん患者が働きながら治療や療養できる環境の整備に努める必要がある。</p>				
区 分	割 合																	
そう思う	7.1%																	
どちらかといえばそう思う	25.1%																	
どちらかといえばそう思わない	34.4%																	
そう思わない	24.5%																	
わからない	9.0%																	
<p>がん対策に関する県の取組への期待</p>	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>割 合</th> </tr> <tr> <td>がんの早期発見(がん検診)</td> <td>70.1%</td> </tr> <tr> <td>がん医療に関わる医療機関の整備(拠点病院の充実など)</td> <td>55.4%</td> </tr> <tr> <td>がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備</td> <td>45.0%</td> </tr> <tr> <td>がんの予防(たばこ対策など)</td> <td>42.0%</td> </tr> <tr> <td>がんに関する情報の提供</td> <td>38.8%</td> </tr> <tr> <td>がんに関する相談やその支援</td> <td>34.5%</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>34.3%</td> </tr> </table>	区 分	割 合	がんの早期発見(がん検診)	70.1%	がん医療に関わる医療機関の整備(拠点病院の充実など)	55.4%	がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備	45.0%	がんの予防(たばこ対策など)	42.0%	がんに関する情報の提供	38.8%	がんに関する相談やその支援	34.5%	緩和ケア	34.3%	<p>「がんの早期発見(がん検診)」の取組への期待が7割に達している。</p> <p>今後も県と企業等との連携により、がん検診の啓発・受診勧奨等に取り組む「がん検診受診率向上推進協定」の締結の推進など、がん検診を受診しやすい環境整備に努める必要がある。</p> <p>また、拠点病院の充実などの医療機関の整備や、がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備、がんの予防などに対する期待が高い。引き続き、「兵庫県がん対策推進計画」の着実な推進に取り組む。</p>
区 分	割 合																	
がんの早期発見(がん検診)	70.1%																	
がん医療に関わる医療機関の整備(拠点病院の充実など)	55.4%																	
がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備	45.0%																	
がんの予防(たばこ対策など)	42.0%																	
がんに関する情報の提供	38.8%																	
がんに関する相談やその支援	34.5%																	
緩和ケア	34.3%																	

(3) 受動喫煙対策について

<p>「受動喫煙の防止等に関する条例」の認知状況</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">全体</th> <th colspan="2">喫煙者</th> </tr> <tr> <th>喫煙者</th> <th>非喫煙者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>条例の名称又は規制があることを知っている</td> <td>81.4%</td> <td>89.2%</td> <td>80.8%</td> </tr> <tr> <td> 条例の名称は知っており、規制内容等も大体知っている (内訳) </td> <td>34.8%</td> <td>57.8%</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td> 条例の名称は知っているが、規制内容等は知らない (内訳) </td> <td>24.3%</td> <td>18.6%</td> <td>24.7%</td> </tr> <tr> <td> 条例の名称は知らないが、施設内の喫煙に規制があるというのは聞いたことがある (内訳) </td> <td>22.3%</td> <td>12.7%</td> <td>23.1%</td> </tr> <tr> <td>条例の名称も規制内容等も知らなかった</td> <td>18.6%</td> <td>10.8%</td> <td>19.2%</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;"> 回答者の内訳：喫煙者 102人(7.3%) 非喫煙者 1,287人(92.7%) </td> </tr> </tbody> </table>	区 分	全体	喫煙者		喫煙者	非喫煙者	条例の名称又は規制があることを知っている	81.4%	89.2%	80.8%	条例の名称は知っており、規制内容等も大体知っている (内訳)	34.8%	57.8%	33.0%	条例の名称は知っているが、規制内容等は知らない (内訳)	24.3%	18.6%	24.7%	条例の名称は知らないが、施設内の喫煙に規制があるというのは聞いたことがある (内訳)	22.3%	12.7%	23.1%	条例の名称も規制内容等も知らなかった	18.6%	10.8%	19.2%	回答者の内訳：喫煙者 102人(7.3%) 非喫煙者 1,287人(92.7%)				<p>条例の名称又は規制があることを知っている人の割合は、8割を超えている。</p> <p>しかし、条例名称、規制内容ともに知っている人は、35%程度にとどまっており、引き続き普及啓発を図る必要がある。</p> <p>なお、喫煙者だけを見ると、条例名称、規制内容ともに知っているとした人の割合が、6割近くに達していることから、喫煙者の関心がより高いことが伺われる。</p>
区 分	全体			喫煙者																												
		喫煙者	非喫煙者																													
条例の名称又は規制があることを知っている	81.4%	89.2%	80.8%																													
条例の名称は知っており、規制内容等も大体知っている (内訳)	34.8%	57.8%	33.0%																													
条例の名称は知っているが、規制内容等は知らない (内訳)	24.3%	18.6%	24.7%																													
条例の名称は知らないが、施設内の喫煙に規制があるというのは聞いたことがある (内訳)	22.3%	12.7%	23.1%																													
条例の名称も規制内容等も知らなかった	18.6%	10.8%	19.2%																													
回答者の内訳：喫煙者 102人(7.3%) 非喫煙者 1,287人(92.7%)																																
<p>喫煙環境の店頭表示</p> <p>飲食店等を利用する際、喫煙環境の表示を参考にするか？</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">全体</th> <th colspan="2">喫煙者</th> </tr> <tr> <th>喫煙者</th> <th>非喫煙者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参考にする</td> <td>92.7%</td> <td>94.1%</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td> (内訳) <ul style="list-style-type: none"> 大いに参考にする 一応参考にする </td> <td>54.7%</td> <td>49.0%</td> <td>55.2%</td> </tr> <tr> <td>参考にしない</td> <td>7.3%</td> <td>5.9%</td> <td>7.5%</td> </tr> <tr> <td> (内訳) <ul style="list-style-type: none"> あまり参考にしない 全く参考にしない </td> <td>5.5%</td> <td>2.9%</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.8%</td> <td>2.9%</td> <td>1.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	全体	喫煙者		喫煙者	非喫煙者	参考にする	92.7%	94.1%	92.5%	(内訳) <ul style="list-style-type: none"> 大いに参考にする 一応参考にする 	54.7%	49.0%	55.2%	参考にしない	7.3%	5.9%	7.5%	(内訳) <ul style="list-style-type: none"> あまり参考にしない 全く参考にしない 	5.5%	2.9%	5.7%		1.8%	2.9%	1.7%	<p>非喫煙者、喫煙者に関わらず、喫煙環境の店頭表示を参考にする割合が9割を超えている。</p> <p>引き続き、県作成の表示用ステッカーの周知・配布を行い、平成26年4月の条例全面適用に向けて、喫煙環境表示の充実に努める。</p>				
区 分	全体			喫煙者																												
		喫煙者	非喫煙者																													
参考にする	92.7%	94.1%	92.5%																													
(内訳) <ul style="list-style-type: none"> 大いに参考にする 一応参考にする 	54.7%	49.0%	55.2%																													
参考にしない	7.3%	5.9%	7.5%																													
(内訳) <ul style="list-style-type: none"> あまり参考にしない 全く参考にしない 	5.5%	2.9%	5.7%																													
	1.8%	2.9%	1.7%																													
<p>受動喫煙防止のための方法</p> <p>非喫煙者が受動喫煙に遭ったときの対応は？</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分(複数回答)</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>席や場所を移動する</td> <td>66.9%</td> </tr> <tr> <td>受動喫煙に遭った施設(禁煙・厳格な分煙のできていない施設)は利用しない</td> <td>54.9%</td> </tr> <tr> <td>施設の管理者に受動喫煙を防止するよう措置を求める</td> <td>27.7%</td> </tr> <tr> <td>施設名等を県に連絡し、施設を指導等するよう求める</td> <td>19.3%</td> </tr> <tr> <td>喫煙者に喫煙を控えるよう求める</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>受動喫煙は気にならないので何もする必要はない</td> <td>2.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分(複数回答)	割合	席や場所を移動する	66.9%	受動喫煙に遭った施設(禁煙・厳格な分煙のできていない施設)は利用しない	54.9%	施設の管理者に受動喫煙を防止するよう措置を求める	27.7%	施設名等を県に連絡し、施設を指導等するよう求める	19.3%	喫煙者に喫煙を控えるよう求める	15.2%	受動喫煙は気にならないので何もする必要はない	2.6%	<p>現時点では、「席や場所を移動する」といった、非喫煙者による消極的な対応の割合が67%程度と最も高い。</p> <p>しかし、「受動喫煙に遭った施設は利用しない」とする割合は5割を超えていることから、喫煙環境表示や分煙設備整備等の必要性を事業者へ周知するなどの対策を進めていく必要がある。</p> <p>また、県に連絡し施設の指導等を求めるとした人も2割程度あることから、条例が全面適用される平成26年4月以降の相談受付窓口での対応の拡充や、必要に応じた対象施設への訪問・指導の実施などの対策も検討する必要がある。</p>																
区 分(複数回答)	割合																															
席や場所を移動する	66.9%																															
受動喫煙に遭った施設(禁煙・厳格な分煙のできていない施設)は利用しない	54.9%																															
施設の管理者に受動喫煙を防止するよう措置を求める	27.7%																															
施設名等を県に連絡し、施設を指導等するよう求める	19.3%																															
喫煙者に喫煙を控えるよう求める	15.2%																															
受動喫煙は気にならないので何もする必要はない	2.6%																															

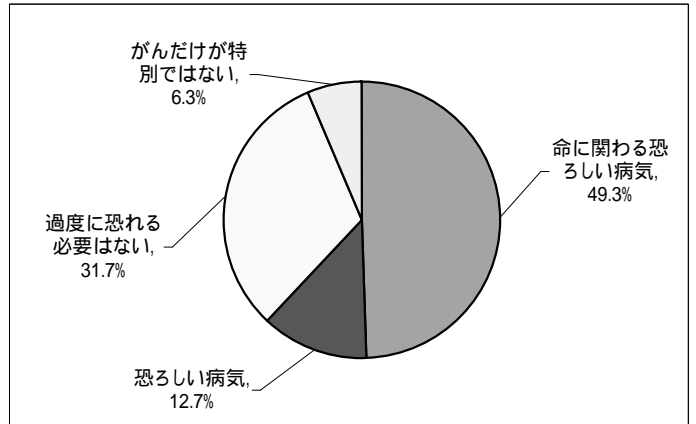
アンケート結果は、今後のがん対策の具体的な施策立案の基礎資料とする。また、受動喫煙防止条例の全面適用に向けて、更なる普及啓発に役立てる。

3 調査結果

(1) がん検診等について

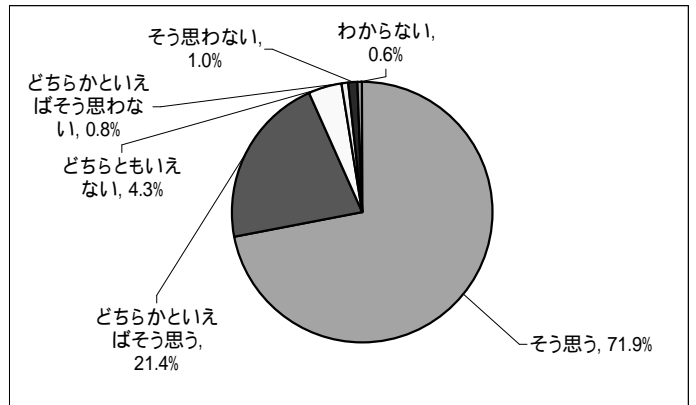
Q1 あなたは、がんに対してどのような印象を持っているか(1つ選択)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| (1) 命に関わる非常に恐ろしい病気である | 49.3% |
| (2) 命に関わるとまでは思わないが、恐ろしい病気には違いない | 12.7% |
| (3) 早期発見等で治癒する病気なので、過度に恐れる必要はない | 31.7% |
| (4) 他の病気と同様で、がんのみを特別に意識することはない | 6.3% |



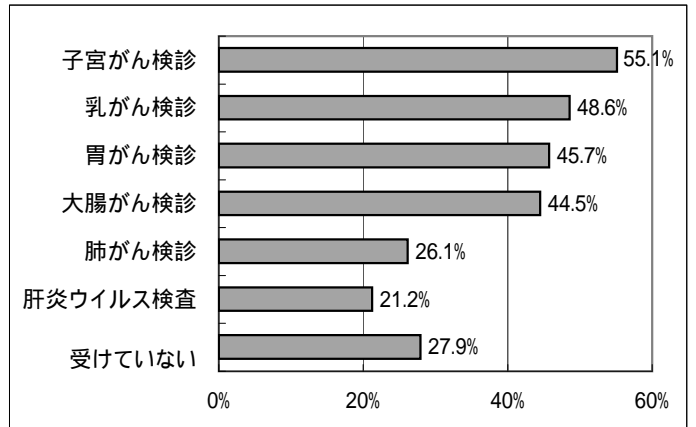
Q2 がん検診は、がんの早期発見や早期治療につながる重要な検査だと思うか(1つ選択)

- | | |
|--------------------|-------|
| (1) そう思う | 71.9% |
| (2) どちらかといえばそう思う | 21.4% |
| (3) どちらともいえない | 4.3% |
| (4) どちらかといえばそう思わない | 0.8% |
| (5) そう思わない | 1.0% |
| (6) わからない | 0.6% |



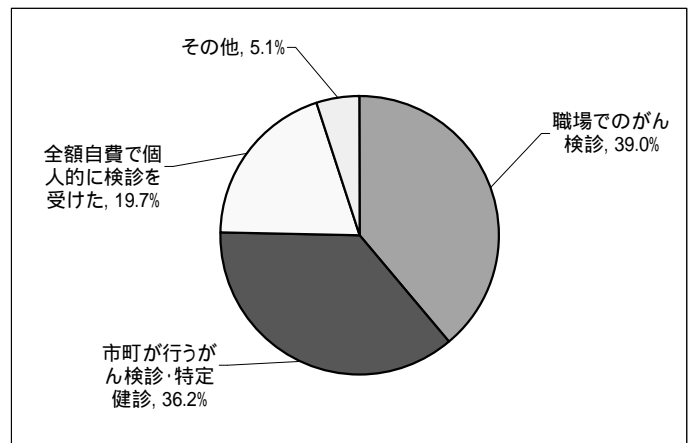
Q3 過去に、次の検診や検査を受けたことがあるか(いくつでも選択)

- | | |
|-----------------------|-------|
| (1) 子宮がん検診(過去2年間) | 55.1% |
| (2) 乳がん検診(過去2年間) | 48.6% |
| (3) 胃がん検診(過去1年間) | 45.7% |
| (4) 大腸がん検診(過去1年間) | 44.5% |
| (5) 肺がん検診(過去1年間) | 26.1% |
| (6) 肝炎ウイルス検査(過去に一度でも) | 21.2% |
| (7) 受けていない | 27.9% |



Q4 (Q3で検診等を受けられた方1,001人に) がん検診をどのような機会に受けたか(1つ選択)

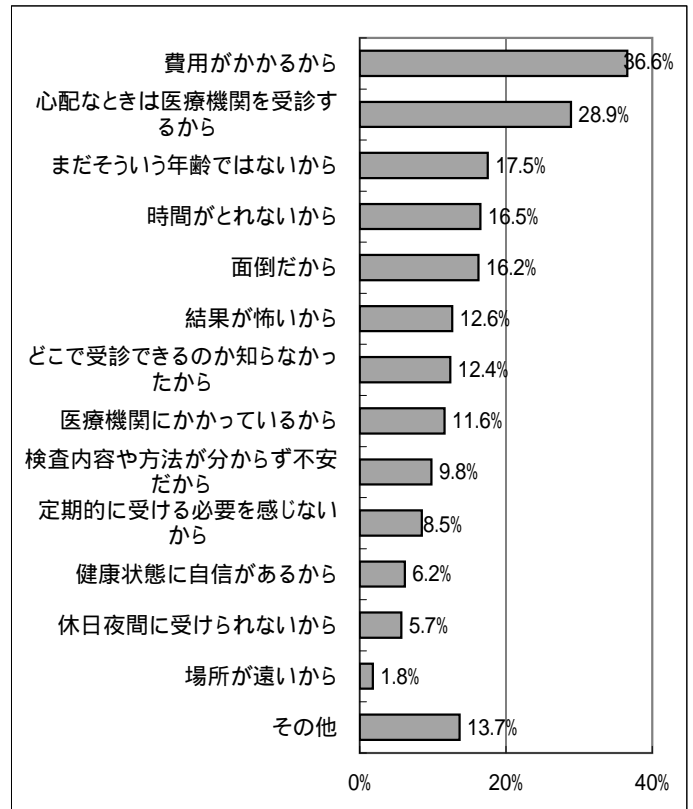
- | | |
|-----------------------------|-------|
| (1) 職場でのがん検診 | 39.0% |
| (2) 市町が行うがん検診・特定健診 | 36.2% |
| (3) 全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドック等) | 19.7% |
| (4) その他 | 5.1% |
| ・他の病気の罹患時や体調不良時 | 19件 |
| ・かかりつけ医の勧め | 7件 |
| など | 49件 |



6名未回答

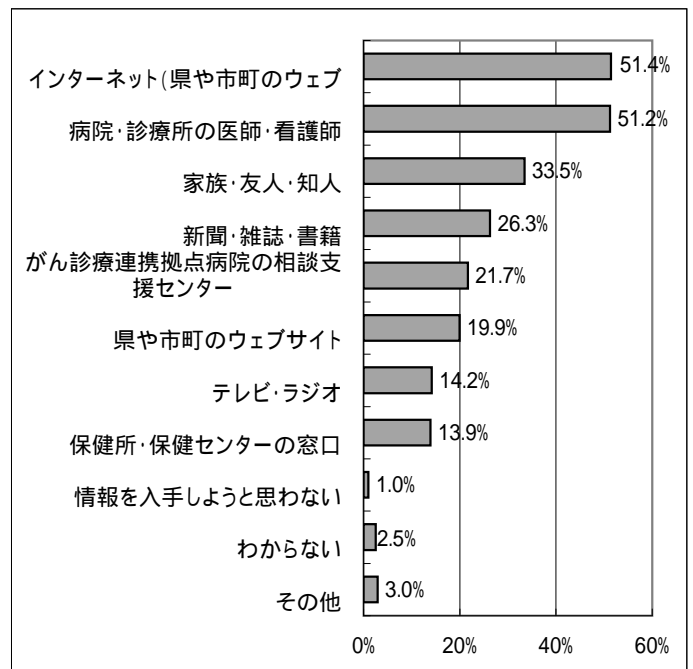
Q5(Q3で「受けていない」と回答した388人に)検査等を受けない理由は(いくつでも選択)

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) 費用がかかるから | 36.6% |
| (2) 心配なときは医療機関を受診するから | 28.9% |
| (3) まだそういう年齢ではないから | 17.5% |
| (4) 時間がとれないから | 16.5% |
| (5) 面倒だから | 16.2% |
| (6) 結果が怖いから | 12.6% |
| (7) どこで受診できるのか知らなかったから | 12.4% |
| (8) 医療機関にかかっているから | 11.6% |
| (9) 検査内容や方法が分からず不安だから | 9.8% |
| (10) 定期的に受ける必要を感じないから | 8.5% |
| (11) 健康状態に自信があるから | 6.2% |
| (12) 休日夜間に受けられないから | 5.7% |
| (13) 場所が遠いから | 1.8% |
| (14) その他 | 13.7% |
| ・他の検査等を受けている | 14件 |
| ・頻繁に受けなくてもよいと思う | 5件 |
| など | 53件 |



Q6 がん検診やがん治療法、がん診療を行っている病院について、どこで情報を入手しようと思うか(いくつでも選択)

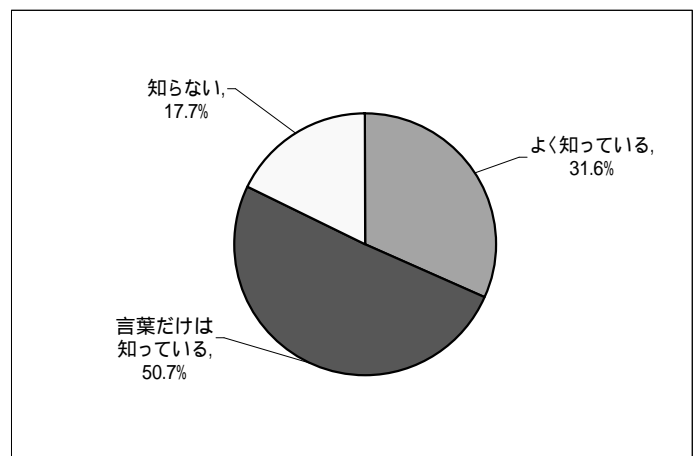
- | | |
|--------------------------------|-------|
| (1) インターネット
(県や市町のウェブサイト以外) | 51.4% |
| (2) 病院・診療所の医師・看護師 | 51.2% |
| (3) 家族・友人・知人 | 33.5% |
| (4) 新聞・雑誌・書籍 | 26.3% |
| (5) がん診療連携拠点病院の相談支援センター | 21.7% |
| (6) 県や市町のウェブサイト | 19.9% |
| (7) テレビ・ラジオ | 14.2% |
| (8) 保健所・保健センターの窓口 | 13.9% |
| (9) 情報を入手しようと思わない | 1.0% |
| (10) わからない | 2.5% |
| (11) その他 | 3.0% |



(2) がん対策の新たな課題に対する認識等について

Q7 がん医療における「緩和ケア」について知っているか(1つ選択)

- | | |
|----------------|-------|
| (1) よく知っている | 31.6% |
| (2) 言葉だけは知っている | 50.7% |
| (3) 知らない | 17.7% |



Q8 がんの治療等で2週間に一回程度病院に通う必要がある場合、働きつづけられる環境か(1つ選択)

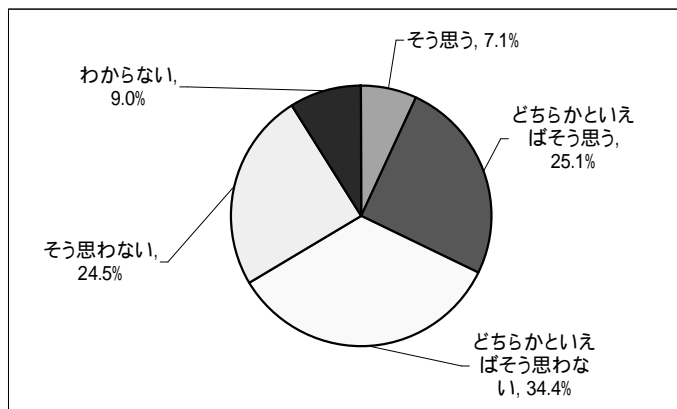
- (1) そう思う 7.1%
- (2) どちらかといえばそう思う 25.1%
- (3) どちらかといえばそう思わない 34.4%
- (4) そう思わない 24.5%
- (5) わからない 9.0%

そう思う(どちらかといえばそう思う)の主な理由[(1)(2)回答者]

- ・有給休暇の範囲内であれば可能 31件
- ・職場の理解が進んでいるから 29件
- など 137件

そう思わない(どちらかといえばそう思わない)の主な理由[(4)(5)回答者]

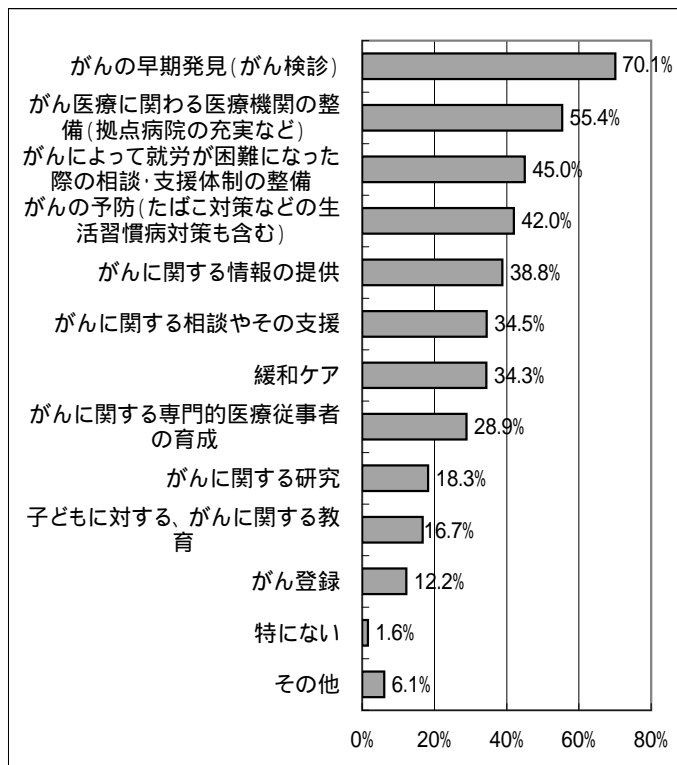
- ・2週間に1回の頻度は休めない 117件
- ・職場の理解が得られないから 109件
- など 389件



Q9 がん対策について、県に力を入れてほしいことは(いくつでも選択)

- (1) がんの早期発見(がん検診) 70.1%
- (2) がん医療に関わる医療機関の整備(拠点病院の充実など) 55.4%
- (3) がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備 45.0%
- (4) がんの予防(たばこ対策などの生活習慣病対策も含む) 42.0%
- (5) がんに関する情報の提供 38.8%
- (6) がんに関する相談やその支援 34.5%
- (7) 緩和ケア 34.3%
- (8) がんに関する専門的医療従事者の育成 28.9%
- (9) がんに関する研究 18.3%
- (10) 子どもに対する、がんに関する教育 16.7%
- (11) がん登録 12.2%
- (12) 特にない 1.6%
- (13) その他 6.1%

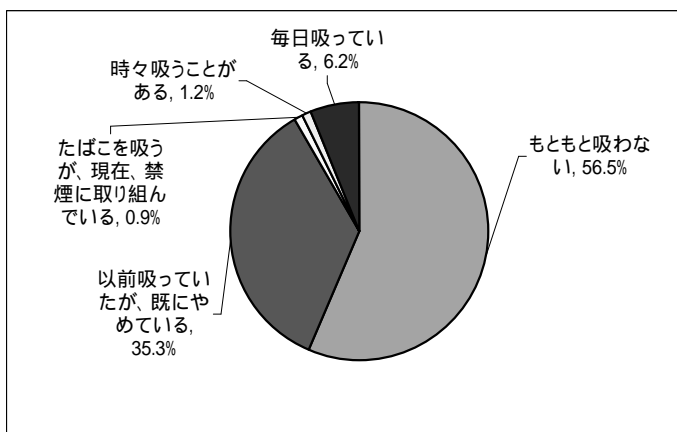
- ・がん治療・検診費用の補助 15件
- ・たばこ対策 10件
- など 85件



(3) 受動喫煙対策について

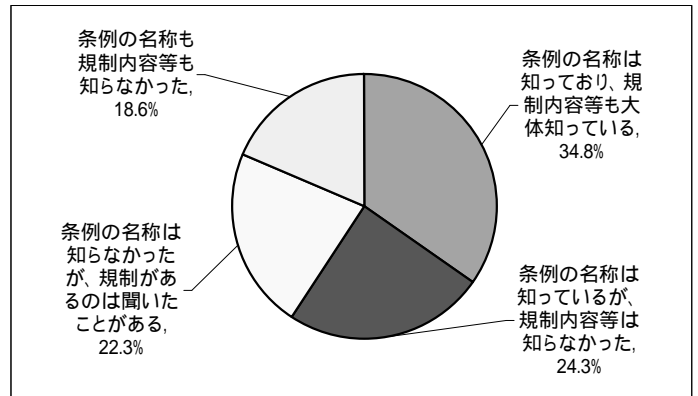
Q10 あなたはたばこを吸うか(1つ選択)

- (1) もともと吸わない 56.5%
- (2) 以前吸っていたが、既にやめている 35.3%
- (3) たばこを吸うが、現在、禁煙に取り組んでいる 0.9%
- (4) 時々吸うことがある 1.2%
- (5) 毎日吸っている 6.2%



Q11 「受動喫煙防止等条例」の規制内容等について知っているか(1つ選択)

- | | |
|---|-------|
| (1) 条例の名称は知っており、規制内容等も大体知っている | 34.8% |
| (2) 条例の名称は知っているが、規制内容等は知らなかった | 24.3% |
| (3) 条例の名称は知らなかったが、こういった規制があるというのは聞いたことがある | 22.3% |
| (4) 条例の名称も規制内容等も知らなかった | 18.6% |

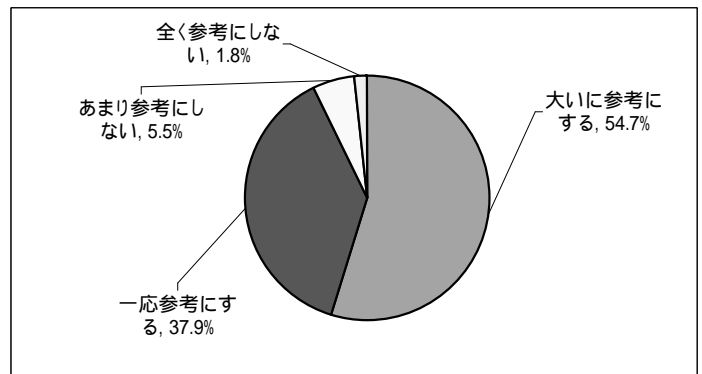


Q12 利用施設を選択する際に喫煙環境の表示を参考にするか(1つ選択)

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 大いに参考にする | 54.7% |
| (2) 一応参考にする | 37.9% |
| (3) あまり参考にしない | 5.5% |
| (4) 全く参考にしない | 1.8% |

参考にしないの主な理由[(3)(4)回答者]

- ・受動喫煙を気にしていない 27件
- ・施設側が配慮してくれている 12件
- など 79件



Q13 (Q10で「たばこを吸わない」と回答した1,287人に)受動喫煙を防止するためには、どのような方法が効果的で実施可能だと思うか(いくつでも選択)

- | | |
|--------------------------------|-------|
| (1) 受動喫煙に遭った時に、席や場所を移動する | 66.9% |
| (2) 受動喫煙に遭った施設は利用しない | 54.9% |
| (3) 施設の管理者に受動喫煙を防止するよう措置を求める | 27.7% |
| (4) 施設名等を県に連絡し、施設を指導等するよう求める | 19.3% |
| (5) 受動喫煙に遭った時に、喫煙者に喫煙を控えるよう求める | 15.2% |
| (6) 受動喫煙は気にならないので何もする必要はない | 2.6% |

